

令和6年度かながわコミュニティカレッジ運営業務企画提案の審査基準及び配点

○評価の方法

	3点満点	5点満点	10点満点
大変優れている	3点	5点	9～10点
優れている	-	4点	7～8点
普通	2点	3点	5～6点
やや劣っている	-	2点	3～4点
劣っている	1点	1点	1～2点

○審査基準

審査項目	審査基準	審査基準別配点	(参考)審査項目別配点
1. 事業理解	事業目的の正確な理解のもとに、ボランティアやNPO等の人材育成ニーズ及び解決が期待される課題を適切に把握し、これらをふまえた本業務の具体的な運営方針が記載されている。	5	(5)
2. 運営体制	(1)類似業務の受託実績がある等、業務を行うために必要なノウハウ、経験を法人として有し、また、業務を確実に実施するための経営基盤を有している。	5	(20)
	(2)受講生等のニーズをふまえた適切な事務局の開設曜日・時間帯・開設時間外の電話対応の方法等が設定されている。	3	
	(3)的確な事業遂行能力を有する事業責任者等が選任され、かつ、開設時間等に対応した適切な職員配置等が計画されている。	3	
	(4)契約期間を通じて効果的かつ効率的に受託業務を行うことが可能な体制がとられている。 また、業務の一部を委託する場合には、委託期間を通じて、効果的かつ効率的に管理及び指導ができる体制がとられている。	3	
	(5)発生し得るリスクを適切に把握し、防止のための組織的な取組方針及び発生した際の対応方針等が具体的に記載されている。 特に、個人情報の管理についての考え方、取扱方針等について、必要な諸規定が整備されている。	3	
	(6)提案内容を確実に実施するための経費が適切に計上されている。	3	
3. 講座編成・企画	(1)メインテーマを踏まえた講座企画・編成方針を設定している。	10	(50)
	(2)7つの分野から、特定の分野に偏りの無いように講座編成がなされており、入門講座と専門講座を組み合わせる等、体系的な講座編成がなされている。	5	
	(3)受講したい者の選択の幅が広く、多様な活動への参加を促進し、より多くの県民が参加しやすい講座編成であり、必要に応じて同一講座の複数回開催などの工夫をしている。	5	
	(4)ワークショップや活動現場を体験できる現地実習、社会調査の活用など実践的なカリキュラムが可能な範囲で盛り込まれている。	3	
	(5)提案する講座が全体テーマの趣旨に沿う内容となるよう、「多世代」「地域での助け合い」「地域活動への参加」などの要素が可能な範囲で盛り込まれている。	3	
	(6)「多様な背景を持った人が生きやすい社会を目指す」視点について、十分考慮されている。	3	
	(7)コロナ禍を経て変容した団体、法人等のニーズを踏まえた講座が可能な範囲で盛り込まれている。	3	
	(8)「ボランティア活動未経験者層の参加促進講座」について、これまでボランティア活動に参加したことが無い層の参加を促進する内容となっている。	5	
	(9)各講座の内容が、地域や社会の課題解決のための知識や技能を学び、向上させる内容になっている。	5	
	(10)各講座とも専門性・経歴・活動実績等からみて、ふさわしい講師及び講座実施団体が選定されている。	3	
	(11)各講座とも受講後の活動を促し、又は活動を支援する講座企画実施団体による具体的なフォローアップの企画が記載されている。	5	
4. 広報	受講生増加のための効果的な広報計画が記載されており、県民の受講促進に繋がる工夫がされている。	5	(25)
5. 自由提案	応募者独自の企画提案について、事業の質を高めるとともに、具体的かつ実現可能な実施内容が記載されている。	10	
6. 事業効果	提案全体を通して、県民ニーズに寄り添っており、幅広い年齢層の受講に繋がる高い満足度を期待できる内容である。	10	
総計		100	100

※ 審査委員の平均得点が60点未満の場合は、順位いかんに関わらず、自動的に不採用とします。

※ 同点の場合は、審査委員が協議の上、決定します。